

より魅力ある企業へ

## 50周年に向けての想い



50周年に向け、里社長が考えている指針をまとめました。里社長は「やりがいを感じられる魅力ある会社にしていくためにどうすればいいか、自分たちがどうあるべきかをみんなにも考えてほしいと思っています。若手からもどんどん意見やアイデアを出してもらい、行動し、形にしていきたいです」と話します。

## 50周年に向けた指針

強固な組織を構築し、さらなる飛躍に向け、より魅力的な会社にするために考えている指針です。



### 先輩たちがあっての今

先輩たちが築いてくれたものがあるからこそ今の大栄建設がある。先輩たちへの感謝の気持ちを忘れず、恩返しをするつもりで仕事に取り組んでいこう。先輩たちに「安心して任せられる」と言ってもらえるよう、次世代が会社を牽引しよう。

### プロ意識を持ち、業界トップへ

目指すは業界トップ。先輩たちが築いた実績と信頼の上にあぐらをかくことなく、皆さんから「大栄建設なら安心」と任せただけのよう、推進工法のプロとしてキレイな仕事をしよう。さらに、一人ひとりが向上心を持ち、努力を惜しまず、新しいことにもチャレンジしていこう。



### 「どうすればよくなるか」を考える

やったことがない、前例がないと諦めてしまうのは簡単だが、成長はそこで止まってしまう。「どうすればできるか」「どうすればよくなるか」と考えて行動しよう。また、それぞれが課題意識を持ち、常に「これでいいのか」と問いかけ、解決に向けて行動しよう。それが一人ひとりのポテンシャルを高める。



### 元気に挨拶、素直に感謝とごめんなさい

社会人として挨拶は基本。チームで仕事をする上で、素直に「ありがとう」「ごめんなさい」を言えることも大切。コミュニケーションがきちんと取れるか否かは現場での安全にも関係してくる。当たり前のことだが、あらためて肝に銘じよう。

### 目標を設定し、達成する習慣を

最初は小さなことでも構わないので、社員一人ひとりが自分の目標を設定し、それを達成していこう。その積み重ねが仕事のやりがいや自信を生み、大きな成長につながる。



### 経営者として大事にしていること

里会長の背中を追いかけて、社員が誇りを持って働けるよう魅力的な会社になりたいと日々尽力している里社長。長い現場経験があるからこそ、現場のこともよく理解していますし、現場の声や若手の意見も積極的に取り入れています。時代の流れに合わせ、ユニフォームの改良などにも着手。そんな社長が大事にしていることを紹介します。

#### 人を大事に。 みんなを幸せに

会長は、社員はもちろん関わる人たちを大事にしてきた人だった。社員を幸せにしたいという想いで会社を牽引してきた。自分もその想いを引き継ぎ、大栄建設に携わる人たちが笑顔でいられるようにできることをしていきたい。

#### 経営理念に 沿った行動を

経営理念「しっかりとした目的意識を持って、創意工夫のうえに行動し、結果を残す」を心に刻み、信念を持って行動する。仕事はもちろん、生き方も含めてすべてに対してこうありたい。